

イノベーション工学研究会 第 16 回セミナー 「学際的な研究拠点における知識統合のパターンと試み」

Patterns and pathways to knowledge integration in highly interdisciplinarity-oriented research centers 2015年10月22日(木) 18:00-20:00/講師:Alfonso Ávila-Robinson 氏(京都大学 iCeMS)

◆日 時 2015年10月22日(木) 18:00~20:00

◆会場東京大学工学部 3 号館 2 階 32 号講義室

http://ipr-ctr.t.u-tokyo.ac.jp/sklab/access.html

◆参加費 無料

◆概 要

近年、複数の学術領域を横断した先端研究を行うための学際的な国際研究拠点が設立されている。一方、従来の研究 開発アプローチをそのような学際的な研究拠点に提供するのは困難である。さらに、学際的研究拠点における多様な知識を統合するという潜在的なニーズに対して、従来の研究では対応しきれなくなっている。このような背景のもとで、本講演ではまず、異なる粒度における知識統合のためのフレームワークを紹介する。次に、学際的な研究拠点において、知識統合へ影響を及す要因について、特に、学知識の認知的な性質の重要性にふれながら、述べる。本講演では、これらのケースについて、計量書誌分析、ネットワーク分析、可視化分析などの多様な分析アプローチの適用を紹介する。ケースとしては、京都大学物質・細胞統合システム拠点、ハーバード大学のウィス研究所という2つの先端研究拠点の例を紹介する。本講演は、学際的な先端研究拠点における知識統合の効率的なマネージメントアセスメントのための知見を提供する。

◆プログラム

18:00-19:00 「学際的な研究拠点における知識統合のパターンと試み」 19:00-20:00 質疑応答

◆ 講師略歴 Alfonso Ávila-Robinson

メキシコ・モンテレイ大学卒業後、ドイツ・アーヘン工科大学で修士課程修了。東京工業大学大学院・イノベーションマネージメント研究科博士課程修了。2013年より京都大学物質-細胞統合システム拠点研究員。2014年より同イノベーションマネージメント・研究企画グループ助教。マイクロ・ナノテクノロジー、幹細胞技術などにおける萌芽技術、技術ダイナミクス、学際的研究、科学技術政策、計量書誌分析の研究に従事。

◆主 催:東京大学工学系研究科総合絵研究機構イノベーション政策研究センター

TEL/FAX: 03-5841-1161 (直通) E-mail: info@ipr-ctr.t.u-tokyo.ac.jp

申込:件名【イノベーション工学研究会 第〇〇回セミナー参加希望】として、お名前・ご所属・役職名をメール(info@ipr-ctr.t.u-tokyo.ac.jp) にてお知らせ下さい(締切:10/19(月))。



Innovation Policy Research Center,

Institute of Engineering Innovation, School of Engineering, The University of Tokyo http://ipr-ctr.t.u-tokyo.ac.jp/